

授業科目名: 教育方法・技術論(情報通信技術の活用含む)(初等)	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数: 2単位	担当教員名: 齋藤俊則・仲久徳 担当形態: オムニバス
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教育の方法及び技術／情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 ※「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」について1単位(授業時間数:15時間)を含む		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標 【授業のテーマ】 教育の方法及び技術、情報通信技術(ICT:Information and Communication Technology)を活用した教育の理論および方法 【到達目標】 ・教育方法に関する基礎的理論、授業、学習評価、情報通信技術を活用した教育の方法・技術に関する基礎的事項について説明できる。 ・教材研究の方法や授業の設計と展開、運営の方法について理解し、具体的なテーマに沿って学習指導案・教材を作成できる。 ・教材・授業における情報通信技術の具体的な活用方法を提案できる。 ・情報モラルの育成を図る教材・指導法を提案できる。			
授業の概要 本授業では、教育方法の基礎的理論、教材研究、授業の設計と展開、運営に関する基礎的事項や方法、情報通信技術を活用した教育方法・技術に関する基礎的事項について理解し、情報通信技術を活用した教材・授業、情報モラルの育成を図る教材・指導法などを具体的な場面で構想し、学習指導案を作成できることをねらいとする。			
授業計画 第1回 ガイダンス(担当:齋藤) 第2回 教育方法の基礎的理論(担当:齋藤) 第3回 授業を構成する基礎的な要件(担当:齋藤) 第4回 授業設計・教材設計の基礎的事項(情報通信技術の効果的な活用を含む)(担当:仲) 第5回 授業運営の基礎的事項(情報通信技術の効果的な活用を含む)(担当:仲) 第6回 学習評価・教育データの活用とセキュリティ対策(担当:齋藤) 第7回 情報通信技術を活用した遠隔・オンライン教育(担当:齋藤) 第8回 情報通信技術を活用した校務とマネジメント(担当:齋藤) 第9回 情報通信技術を活用と特別の支援を必要とする生徒への対応(担当:齋藤) 第10回 情報活用能力(情報モラルを含む。)の基礎的事項(担当:齋藤) 第11回 情報通信技術と授業・教材の実際(1):学習指導案の作成(担当:仲) 第12回 情報通信技術と授業・教材の実際(2):デジタル教材の作成・利用(担当:仲) 第13回 情報通信技術と授業・教材の実際(3):情報通信技術を利用した授業運営(担当:仲) 第14回 情報通信技術と授業・教材の実際(4):情報活用能力(情報モラルを含む)の指導法(担当:仲) 第15回 情報通信技術と授業・教材の実際(5):授業研究と授業改善(担当:仲) 科目修得試験			
スクーリングでの学修 スクーリング(オンデマンド)では、第7回～第10回の内容を包括的に扱い、スクーリング(対面)では、第11回～第14回の内容を包括的に扱う。			
テキスト 稲垣忠(編著)(2022)『教育の方法と技術 Ver.2(改訂版)IDとICTでつくる主体的・対話的で深い学び』北大路書房、978-4762832123 文部科学省「教育の情報化に関する手引-追補版-(令和2年6月)」 <a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00117.html">https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00117.html</a>			
参考書・参考資料等 西岡加名恵(編著)(2022)『新しい教育評価入門[増補版]:人を育てる評価のために(有斐閣コンパクト)』有斐閣、978-4641174764 文部科学省「平成29・30・31年改訂学習指導要領(本文、解説)」 <a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm">https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm</a>			
学生に対する評価 スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)			